早期発見で肺がん予防！

COPD（シー オー ピー ディー）・肺がん

チェックコースのご案内

～ COPD（慢性閉塞性肺疾患）の方、増えています！～

COPD（慢性閉塞性肺疾患）とは...

従来、慢性気管支炎や肺気腫と呼ばれてきた病気の総称で、歩行時や階段昇降など、身体を動かした時に息切れを感じる労作時呼吸困難や慢性のせきやたんが特徴的な症状です。息を吐くときに音がする喘鳴や発作性呼吸困難など、ぜんそくの様な症状を合併する場合もあります。

COPD推計患者数は40歳以上の人口の8.6%、約530万人と推定(※)されています。COPDによる年間死亡数は、1万8,523人、さらに、COPDの患者様が肺がんになる確率は、COPDでない人のおよそ5倍といわれています。

特にCOPDの主な原因はたばこの煙であることから「肺の生活習慣病」ともいわれ、COPDの患者の90%が喫煙者です。重症化を防ぐためには、早期発見・早期治療が重要です。

※2001年に行われた日本COPD疫学調査（NICE study）による

●検査項目

胸部CT、胸部レントゲン、肺機能検査、
腫瘍マーカー（CEA、CYFRA、ProGRP）

●料金　１７,０００円（税込）

●期間　2024年4月1日（月）～5月31日（金）

※日・祝日は除く

お問い合わせ・ご予約は

国際医療福祉大学熱海病院　予防医学センター

ＴＥＬ　０５５７－８１－９１７６

（月～土曜日　9:00～17:00）
※日・祝日は除く